

【学校教育目標】

○広く豊かな心を持つ ○自ら学ぶ ○心身を鍛える

【目指す生徒像】

- 他者との共生の中で自分の持ち味を発揮できる生徒
- 主体性と思いやりのある生徒
- 正しい知識と判断力を身に付けた生徒
- 何度でもチャレンジできる生徒

館林市立第三中学校 学校だより

【発行者】第19代校長 橋本文明



全校一心

－「笑顔」「前向き」「感謝」「尊重」－

令和6年12月24日(火) vol. 9

ああ 我が第三中学校 ⑧

令和 3年 1月 (2021)	屋上防災スピーカー設置
同 年 3月 (同)	校内 Wi-Fi 工事完了 一人一端末設置
同 年 5月 (同)	水道蛇口レバーハンドル化
同 年 8月 (同)	新型コロナ拡大のため、2期 始業式より2週間分散登校

80日間の2学期も今日で終了。あっという間に過ぎ去ってしまいました。生徒たちは、1学期以上に積極的に・真剣に取り組んでいました。たくさんの行事や授業、部活動、切磋する中で、皆心身共に成長しました。

8月、気持ちも新たに2学期スタート。1学期の反省をいかして成長した2学期にしようと思んだ人も多はず。今はどうでしょうか？3年生は卒業アルバム部活動写真撮影、1年生は高原学校説明会がありました。

9月、**復習確認テスト**で夏休みの学習の成果を計りました。“よっしゃ”という人、“自分は夏休みに何をやってたんだろう…”という人もいたようです。1,2年生は**新人戦**が始まり、さらに1年生は高原学校の事前学習、3年生は修学旅行へ向けての班別行動計画の作成と、2学期が始まって早々充実した日々となりました。3年の先生たちは、**高校入試説明会**が始まり、こちらも熱が入っていました。駅伝競走大会へ向けての練習も佳境に入り、熱中症予防対策を講じながら日々のトレーニングが充実してきました。そして、12日からの2日間の**榛名高原学校**が始まり、雨中のカッター訓練による妙な一体感、夜はキャンプファイヤーで燃え、友情を深めた1年生でした。18日には2泊3日の3年生**修学旅行**へ出発。京都は暑(熱)かった～、インパウンドによる旅行客でいっぱい。仲間と協力してたくさんの楽しい思い出と美しい景色が心に焼き付きましたね。帰りのバス内では交通渋滞の影響によるハプニングがあり、〇〇先生の「限界を超えろ！」は名言です。

10月、まずは**市駅伝大会**で男子はA,Bチームとも優勝、女子はAチーム準優勝とBチームは優勝。これまでの練習の成果が出てよかったですね。



学級では、新たな班や係・委員会も編制し、後期へと移行。新しい生徒会本部役員が決まり、スローガンは「**三中green**」。**中間テスト**を終え、テストを通して計画的に学習する習慣を付けることが大切ということを改めて考えてくれた人も多かった。3年生は**進路説明会**があり、受験の足音がだんだん大きくなってきていると感じました。2年生は上三林在住の大塚氏をお招きし、**ポツチャ体験**。**音楽祭**の練習も本格化し、各学級で工夫を凝らした練習により、「学級の歌」を創り上げていました。校長からは音楽祭を通して「**金賞の向こう側**」を目指してほしいとエールを送りました。24日当日、どの学級どの生徒もどの担任も、各学級独自のドラマが完成しました。金賞学級はおめでとう!!どの学級の歌声も、きっと宇宙(そら)まで届いたことでしょう全ての学級が、持てる力を発揮するこの素晴らしさを味わえ、「金賞の向こう側」をつかめたかと思います。

二学期を振り返って、充実の冬休みに

11月、**三者面談**。3年生は受験計画を立てる上での重要なターニングポイント。1,2年生はこれまでの生活を振り返り、次なる飛躍へ向けての重要なきっかけ。明日への新たな一歩が確かめられたでしょうか？**県駅伝**での熱走、**卒業アルバム写真撮影**を終え、1年1組は**市提案授業**で活躍、2年生は2日間の**職場体験学習**で自己

の進路を見つめました。そして**期末テスト**。中間テストのリベンジに燃えていた人も多かったですね。倍返しはできたでしょうか？30日には学校公開での**PTA教育講演会**に、元QuizKnock・本校卒業生・渡辺航平(こうちゃん)氏をお迎えし、「中・高・大・



社会人でのターニングポイントで何を考えたか・何をしたいか」のご講演を賜りました。皆さんにとってヒントとなることも多かった内容でした。11月をもって県市中体連新人大会等が終了し、本校は**市大会優勝7つ**、**県大会総合優勝1つ**、その他入賞多数という結果でした。その結果にたどり着くまでの過程を大切にできたから、このような結果がついてきたのだと感じます。

12月、生徒代表の標語や作文、校長のプレゼンで、人権感覚を向上させる**人権集会**を行いました。2年生は職場体験学習の事業所へのお礼へ出向き、また1月末のスキー教室へ向けた指導が始まりました。

そして今日、激動の80日目を迎えました。生徒の皆さん、2学期も笑顔で過ごせたでしょうか？前向きでしたか？皆に感謝し他を尊重できましたか？また、学習の習得はどの程度できたでしょうか？部活動は目標を持ち続けて取り組めたでしょうか？冬休みが始まったらずに2学期の振り返りをして、伸びていると思えることはさらに伸ばし、不足しているなど感じているところは少しでも改善あるいは身に付くように自分を律して取り組んでください。皆さんの努力を期待しています。3年生は年が明けるとすぐに高校入試が待ち構えています。病気や怪我をせず、自分の目標とするところへとまい進してください。応援しています！ご家庭におかれましては、お渡しした通知表をもとに親子で2学期を振り返っていただき、できていたことや3学期に何を伸ばしていきたいか、あるいは改善点等について話し合ってくださいますようお願いいたします。

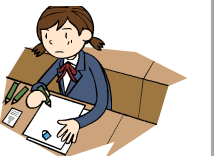
結びに、保護者・地域・関係機関の皆様には、本校の教育活動に対して、ご理解ご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げますとともに、3学期も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

皆様にとって、穏やかな新年を迎えられますようご祈念申し上げます。学期末のご挨拶といたします。



三中 HP

励ましの言葉を



3年生にとっては、いよいよ中学校生活の最終コーナーにさしかかりました。でも卒業を控えるゴールの前の一つ、入学試験という壁を乗り越えなければなりません。登山に例えるならば頂上目の八合目、生徒にとって今が一番苦しいときかもしれません。

不安と緊張から、精神的にストレスが大きくなっていくときです。だからこそ、プラス思考となる前向きなことば「励まし」がほしいのです。「勉強しなさい」「ガンバレ」だけでは何かが足りません。今時の子どものやる気を引き出す「**子どもをのせる**」と言ってもよいでしょう「**励ましのことば**」をかけてあげてください。

ただ、注意しなければならないことは、励ましのつもりであれ、入試の結果に対する 親の期待が大きいと、ストレスにつぶされてしまう子もできます。「人事を尽くして天命を待つ」という格言がありますが、長い人生なんだから自分のペースで学習と生活を進め、当日はベストコンディションで試験に臨めばいいんだ、という気持ちで温かく見守ってやるのが一番です。

そうは言っても、3年生諸君！受験するのはキミなのです！甘えず、目標に向かって前進しましょう。キミならできる、必ずできる！

ゲートキーパーとしての家族



新学期が始まって9か月、勉強や人間関係などに不満や悩みがある生徒もいると思います。特に3年生は入試直前なので、焦りから不安や緊張感が高まっているかも知れません。長期休業に入るとこうしたことがふつふつと湧き上がって気持ちが不安定になることがあります。こんな時、ご家族(親・兄弟姉妹・親戚)がゲートキーパーとなってあげられるといいですね。

ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけてあげられる人のことです。特別な研修や資格は必要ありません。誰でもゲートキーパーになります。ご家族はお子さんのゲートキーパーです。悩んでいる様子が見えたら、優しく声をかけてあげてください。声をかけあうことで、不安や悩みを少しでも和らげることができるかも知れません。

ゲートキーパーは「**変化に気付く**」「**じっくりと耳を傾ける**」「**支援先につなげる**」「**温かく見守る**」という4つの役割が期待されていますが、そのうちどれか1つができるだけでも、悩んでいるお子さんにとっては大きな支えになるでしょう。

ただ、お子さんの相談にのっていると、「悩みを聞くのがつらい」など、自分が疲れてしまう時があるかも知れません。そんな時は、全てを抱え込む必要はなく、少し休んでください。まずは自分の心を大切にしてください。

詳しくは厚生労働省のHPに掲載されています。右の二次元コードからぜひご覧下さい。

